

1. はじめに

インターンシップとは、大学生等の学生を農林水産省において就業体験を行わせることにより、学生の学習意欲を喚起し、高い就業意識を育成するとともに、農業や農村、行政の仕事に対する理解を深めてもらうことを目的に実施しています。

当事務所では、効果的な実習内容となるよう、測量・調査・設計等の実務作業に加え、農業農村工学技術者として学ぶべき内容を広範囲に学習してもらうことを念頭に、実習計画を作成しています。

ここでは、今年度、当事務所で受け入れを行ったインターンシップについて紹介します。

実習期間	8月31日(月)～9月11日(金)
------	-------------------

大学生受入	秋田県立大学	1人
-------	--------	----

2. 実習の内容・特徴

実習計画は、事業計画の基礎となる情報を現地で把握・確認するための調査から、頭首工、用排水機場などの国営事業で造成・更新された施設の視察に加え、施設完成後の管理について理解してもらうための土地改良区などの施設管理者の方々との意見交換を行うことで、国営土地改良事業のライフサイクル（調査～実施～管理）をイメージしやすいものになりました。

また、農村の振興に向けた施策である鳥獣被害対策やジビエ、再生可能エネルギーの活用についても学んでもらえるよう、小水力発電施設や獣肉処理施設の管理者との意見交換会を取り入れました。



白山頭首工の視察



十二町潟排水機場の視察

水管理システムの説明
(鳴鹿頭首工)

小水力発電施設の視察

獣肉処理加工施設
(ジビエアトリエ「加賀の國」)水田農業と関わりの深い
希少な魚類の保護池

3. 現地での調査

事務所が担当する業務の中から、水質調査や流量観測などの現場での計測を行う実習内容を選定し、随行した職員が調査指導を担当しました。



鉄筋探査



ファームポンドの水質調査



用水路の流量観測

4. おわりに

今年度のインターンシップは、昨今の情勢を踏まえ、残暑が厳しい中でも、マスク着用などの感染防止対策を行ったうえで、就業体験を実施しましたが、将来を見据えて参加した実習生は、一生懸命に実習内容に取り組んでいました。

成果発表会では、実際の職場での体験を通じて多くの発見があったとの報告もあり、私たちの仕事について理解いただけたと感じています。

実習生が、近い将来には「同僚」となっていることを切に願っています。



実習の成果発表会の様子

実習生の感想

2週間いろいろな場所へ連れて行っていただきました。様々な地区があり、いつも新鮮な気持ちで実習に参加することができました。初めて知ること・初めてする作業がたくさんあり、楽しかったです。

現場に赴いてその場所で働く方に直接お話を聞くことで、どうしてこの計画が進められているのか、この施設は何のためにあるのか、などわかることがたくさんありました。

新しく得た知識を今後の大学での実習や研究に役立てていきたいです。

ランチでは、地元グルメを味わい、食文化についても学びました！

